



人権教育シリーズ④
西合志中央小学校の取り組み

問い合わせ先 人権啓発教育課 ☎(248) 2399

健康、工夫、協同の校訓のもと、こ
とし児童数が700人を超えた西合志
中央小学校。同校では毎朝、今月の歌
を歌い『五十の詩』をみんなで読んで
1日が始まります。

これは人に優しい豊かな言語感覚
を育てていく、ことは教育の取り組
みです。

心のきずなを深める

6月は、いじめを許さない学校・学
級を目指して、心のきずなを深める月
間としました。子どもたちが自分の大
切さとともに他の人の大切さを認め、
いじめの未然防止につながるように取
り組みを行ないました。

1学期は主に、なかま作りをテーマ
に学級ごとに授業を実施。学習したこ
とを踏まえ、学年で人権集会を行ない
ました。

例えば低学年では、1年生が『さる
とかに』を学習して考えたことを発表
しました。発表に対して、2年生の子
どもたちから「僕も友だちに嫌なこと
を言ったことがあるので、これからし
ないようします」「私は嫌なことを
されたので仕返しをしてみました」な
ど、ちゃんと言葉で伝えるようにしま
す」などの感想がありました。

夏休みも元気に早起き
ラジオ体操

7月25日、妙泉寺公園で夏休みラジオ体操のオープニングイベントが行なわれました。

夏休みの子どもたちと一緒にラジオ体操をしようと、妙泉寺公園ラジオ体操の会（東海三会長）が開催。子どもから大人まで約120人が参加し、爽やかに体操しました。東会長が「夏休みの間も早起きして体操に来てくださいね」と声を掛けると、子どもたちは「はい」と元気に返事をしました。



みんなで体操すると気持ちも元気に

県代表として活躍
九州少年柔道大会

7月6日～7日にかけて、福岡県で第37回九州少年柔道大会が開催されました。

個人の部の小学6年生女子45kg級に真心館少年柔道クラブの中馬場桃葉さん（西合志東小）が県代表として出場。見事3位に入賞しました。中馬場さんは「小学校最後の九州大会で入賞できてよかったです。中学校でも柔道を頑張りたいです」と次への目標を力強く語りました。



積み上げた稽古の成果を発揮した中馬場さん



ありがとうの木

子どもたちが自分自身の行動を振り返り、友だちや学級の良いところ、気付く機会となるように、ありがとうの木に取り組んでいます。「一緒に遊んでくれてうれしかったよ」「給食の片付け



2年生は『かなちゃんの日記』を学習して、自分の思いを伝えることの大切さを発表しました。これを聞いた1年生から、たくさん感想をもらいました。イライラしたり、もやもやしたりしてなかなか自分の思いを伝えられず、つい手を出したり悪口で返したりしてしまいう低学年の子どもたち。しかし、この集会を通して、思いを伝え合うことの大切さを感じ、行動できるようになる機会となりました。

市消防団夏季訓練 玉落とし競技を開催

7月28日、中央運動公園グラウンドで市消防団夏季訓練玉落とし競技を実施しました。これは地上18mに設置された標的に向け放水し、ボールを落とすまでのタイムを競う競技です。猛暑の中、全29チームが参加。練習を重ねてきた選手たちは、全力で訓練に臨みました。

消防団では日頃から訓練を積み重ね、災害に対応できるように努めています。

玉落とし競技入賞チーム

順位	タイム	所属	チーム	地区
優勝	49秒7	第11分団	1部	大池・若原・御代志
準優勝	52秒9	第4分団	1部	上庄上・上庄下
3位	1分00秒7	本部機動班	1部	市役所
4位	1分04秒2	第10分団	2部	北・本村・辻・城・上生
5位	1分04秒8	第13分団	2部	須屋・上須屋・堀川



選手宣誓をする団員



狙いを定めて放水



で、これまで話してもらったことをもとに紙芝居を作成しました。子どもたちは紙芝居を見ることで改めて亡くなった人たちの無念や家族の悲しみを感じました。慰霊祭の後、全員で黙祷を捧げ、クラスごとに慰霊塔に花を捧げました。

これからもこの慰霊祭を通して、友だちの命、家族の命、そして自分の命の大切さを学んでいきます。

を手伝ってくれてありがとう」などの友だちへのメッセージだけでなく、学年の違う友だちや先生へのありがとうなど、たくさんメッセージが寄せられました。

すてきななかま、中央小

いじめは絶対に許されるものではないと、いじめのつもりはなくとも、日常の何気ない言葉や態度で、友だちを傷つけてしまうこともあります。西合志中央小学校では毎月『すてきななかま、中央小』というアンケートを実施し、子どもたちの実態把握を行なっています。アンケートの後には、すぐに聞き取りを行ない、教育相談をします。事実を確認し、どのように解決していくのかを子どもたちと一緒に考えていくことで、子どもたち自身の関係を見直していきます。

中央小慰霊祭

今から78年前、第二次世界大戦中の昭和16（1941）年5月27日、当時5年生の子どもたちが、学校近くの土手を削って畑を広げるための勤労奉仕作業中、土砂崩れが発生。3人の尊い命が失われました。西合志中央小学校では毎年この日に慰霊祭を行なっています。

亡くなった子どもたちやその家族に思いをはせ、霊を慰めるとともに、当時を知る人々からの話や思いを聞くことを通して、子どもたちが平和の尊さを考えます。

ことしは児童のハートフル委員会

この他にも、5年生は水俣に学ぶ肥後っ子教室で、語り部の人の話や現地での学習を通して、公害によって引き起こされた差別について学びます。

6年生では菊池恵楓園に行きハンセン病回復者の生き方に学び、さらに長崎への修学旅行で平和学習を行なっています。

日常生活では、生活委員会のあいさつ運動やボランティア委員会の支援活動などを通して、子どもたちが自身が行動することの大切さに気づき、高め合う西合志中央小学校を目指して取り組んでいます。